

株式会社サイバーエージェント (AI事業本部 AI Lab) 研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

【育成方針】

デジタルマーケティング全般に関わる、幅広いAI技術の研究開発を目的に2016年に設立した「AILab」にて、機械学習、計量経済学、コンピュータビジョン、自然言語処理、HCIなどを専門とする研究者と共に研究・開発・実証・実施を通して、若手研究者の長期的な成長を可能にする。若手研究者にとっては、研究を実用化しAI技術をビジネスの成果に繋げる実装力になり、革新的なクリエイティブ制作の現場に身を置くことで、臨場感をもって新しい価値を社会へ提供していく。

【研究環境の確保と充実】

「AILab」の研究・開発体制と実績は「2020年のAI研究をリードするグローバル企業トップ100 (Gleb Chuvpilo: [AI Research Rankings 2020](#))」で日本国内企業トップ7社(世界66位)に選ばれ高く評価されており、AI最高峰の国際学会「[NeurIPS](#)」「[AAAI](#)」「[ICML](#)」「[CVPR](#)」をはじめ、世界のトップカンファレンスで数多くの論文が採択されている。

その他、大規模なAI開発に対応する「NVIDIA DGX H100」の国内初導入、「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」80基、国内最大級のクリエイティブ制作スタジオ「極AIお台場スタジオ」等の最先端設備を整え、研究者の多様性を尊重した活躍の促進を測る。

【能力開発支援】

高度なAI研究技術の実用化に積極的な大学・学術機関との産学連携(2023年12月時点で39件)を通し、ビジネス課題の解決だけでなく学術的貢献を目指せるよう研究者支援を行っている。定期的な論文輪読会や学会参加報告会などの他、2017年にスタートした「White Paper Project」では全社の各組織で行われているAI/Data系の研究開発における技術の論文化を行い、「スキルアップゼミ制度」では業務時間の一部の使用を認め、活動にかかる費用を会社が負担することで積極的なインプットの促進を進めている。

【育成方針】

特別研究員(PD)の期間は、研究者として成長していくうえでのキャリアパスの第一段階である。この時期の研究者に対し、研究に専念できる環境を用意するだけでなく、他領域の研究者と交流できる機会を設けることで、研究者として多角的な能力開発を狙う。

研究活動の中で、民間企業だからこそ提供できる価値として、実サービスや実証実験からのフィードバックが挙げられる。時として、研究だけでは得られないフィードバックがあることで、学术界のみに限らない産官学に通じた研究能力を得ることが期待できる。以下には具体的な連携先を上げる。

- ・[実サービスの持つデータを利用](#)
- ・[実サービスへの応用](#)
- ・[官公庁自治体との実証実験](#)

実際に当社に所属する研究員のうち、研究成果を挙げている社員をメンターとしてアサインし、基礎および応用研究に取り組んでもらうことで、スキル形成支援をおこなうことを予定している。

【女性研究者に係わる育成方針】

基本となる産前産後休業、育児休業のほか独自の女性活躍促進制度「macalon」パッケージで女性研究員が安心して長く研究活動に従事することを可能にする。具体的には女性特有の体調不良の際に取得できる「エフ休」、不妊治療中の女性社員が治療のための取得できる「妊活休暇」、「妊活コンシェルジュ」への相談機会、「卵子凍結補助」、子どもの学校行事や記念日に半休が年2回取得できる「キッズディ休暇」等がある。

以上